# 岐阜こども福祉機器展2025

# 活動報告

こどもまんなか

2025年6月7～8日に多治見市のセラミックパークＭＩＮＯにて、14回目の岐阜こども福祉機器展を開催いたしました。

今回、前任者から担当が変わることになり、何から初めて良いか、企業様とのやりとり、会場、後援申請など初めて行うことばかりで、これほど準備が大変なのかと実感しました。

今年度より出展料を徴収して開催するということもあり、出展企業さんが減ったら参加者も減るだろう、せっかく足を運んでくれた参加者の方に満足得る福祉機器展になるのかなど葛藤が募るばかりでした。ただ僕の中では、歴史ある福祉機器展を辞めてはいけないという責任感のみで努めてきました。準備を進める中で他病院の先生方や準備委員、こども福祉部のスタッフの方々に助けられ福祉機器展を開催することができました。参加企業45社、参加者1575人と昨年に及びませんでしたが、その分、参加者の方々がゆっくり過ごせるようにフリースペースを設けたり、ボッチャなど体験コーナーも設けました。

参加者の方々から「準備や企画してくれたスタッフのみなさん、今日はありがとうございました。気になった福祉用具や機器に実際に試すことができ、我が子の成長も感じつつ、親もいろいろ勉強になります。また来年も開催してくれることを願っています。」「下の子の座位保持椅子を探しに行ったんですが、お兄ちゃんも飽きないくらい遊べる物などあって助かりました。椅子もたくさんあって、悩みましたが、下の子のリハビリの先生と業者さんが一緒に回って頂いたお陰である程度候補決まりました。ありがとうございました。」
出展企業様から「毎年参加したい」「岐阜の理学療法士さん、作業療法士さん方々が皆様優しくて、温かくて、笑顔が明るくて。こちらも前向きになれました。とても素敵なイベントを作って下さり、ありがとうございました。」などの温かいお言葉をいただき、今後も充実となる福祉機器展であるよう努力していきます。

（文責：こども福祉部　栗本大資）